



Tongali アイデアピッチコンテスト 2019

## 応募要項

### 内容

アイデアピッチコンテストとは.....	1
応募方法 .....	1
応募受付期間 .....	1
応募資格.....	1
応募の流れ.....	1
留意点 .....	2
予選.....	2
予選内容.....	2
予選審査方法 .....	3
予選審査員 .....	3
予選結果.....	3
本選.....	3
本選内容.....	3
本選審査方法 .....	4
本選審査員 .....	4
賞 .....	4
受賞チームへの留意事項.....	5
受賞チームの義務 .....	5
活動支援金について .....	5
その他 .....	6



## アイデアピッチコンテストとは

来る 11 月 15 日 (金)、東海地区 (愛知県・岐阜県・三重県) の大学および大阪大学 (EDGE-NEXT 協力機関<sup>1</sup>) の学部生・大学院生・ポストドクターを対象とした、アイデアコンテストを実施します。

起業アイデアをはじめ、企業とタイアップした新事業、地域振興、社会貢献、学生イベントを盛り上げるためのアイデアなど、おもしろアイデアならなんでも OK。アイデアのわくわく感や新規性・独創性などを評価し、審査を行います。

優秀チーム 5 組には 10 万円の活動支援金を支給<sup>2</sup>するほか、サポーター企業・団体からの特別賞もあります。特に優れたチーム (2 チーム程度) には、事業化へのステップアップのため、米国・シリコンバレー研修への挑戦権を授与するなど、アイデアを確度の高い事業計画に仕上げるためのサポートを行います。

たくさんのご応募をお待ちしております。

## 応募方法

### 応募受付期間

2019 年 10 月 7 日 (月) ~ 30 日 (水)

### 応募資格

東海地区 (愛知県・岐阜県・三重県) の大学および大阪大学の学部生・大学院生またはポストドクターが代表者で構成されるチーム、個人であること。

### 応募の流れ

1. 『[アイデアピッチコンテスト 2019](#)』ウェブページよりエントリー
2. 予選に向けて 3 分間のプレゼンテーション資料を用意してください
3. 11 月 1 日 (金) 予選実施

<sup>1</sup> Tongali は文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)」の採択を受けています

<sup>2</sup> 2020 年 2 月 29 日の成果報告会で発表することを条件とします

▼  
予選通過  
▼

4. 11月10日（日）までにアイデアピッチコンテスト申請書の提出
5. 11月15日（金）アイデアピッチコンテスト本選実施

留意点

- 1代表者につき、1プランのみの応募です。ただし、ひとつのチームの代表者が別のチームメンバーになることは可能です。
- アイデアを実現したいのであれば、「より多くの人にアイデアを聞いてもらうこと」が実現への近道です。しかし、コンテストで公開する以上、優れたアイデアが剽窃・模倣される危険がゼロではありません。特許権などの知的所有権等が発生しそうな場合は、本コンテストでプレゼンする前に出願をしておくことも対策の一つです。  
必要であれば事前に Tongali プロジェクトにご相談ください。
- アイデアの著作権の侵害等については応募者の責任とし、Tongali プロジェクトは関与しません。
- 公序良俗の観点から適当でないと判断されたプランの評価は行いません。
- 11月1日（金）の予選の都合がつかないチームは、Tongali プロジェクト事務局 [tongali@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:tongali@aip.nagoya-u.ac.jp) までご相談ください

予選

日時： 2019年11月1日（金）16:00～21:00

場所： 名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）1階 Idea Stoa

※この日時に都合のつかないチームは、Tongali プロジェクト事務局 [tongali@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:tongali@aip.nagoya-u.ac.jp) までご相談ください

予選内容

応募者はアイデアに関する3分間のピッチ（＝ショートプレゼンテーション）を行った後、予選審査員より5分間の質問を受けます。当日はPCをご持参ください。

予選は一般聴講者を入れずに行います。



## 予選審査方法

プレゼンテーション・質疑応答を基に、以下の項目を評価します。

1. わくわく感（アイデアがおもしろい）
2. 新規性・独創性（アイデアに特徴や競争力がある）
3. 市場性・将来性（世の中に明確なニーズ・需要があり、将来の発展も見込まれる）
4. 意欲・熱意（アイデアにかける熱意や思いが伝わってくる）
5. プレゼンテーション（話術・資料作成・質疑応答が巧みかつ明瞭である）

## 予選審査員

※ 五十音順、敬称略

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社	代表取締役	堤 孝志
ナレッジネットワーク株式会社	代表取締役	森戸 裕一
株式会社ニュースピックス ブランドデザイン事業部		
	アカウント・エグゼクティブ	渡辺 敬子

## 予選結果

予選の結果は予選会場にて直ちに発表します。また、申請代表者にメールでお知らせします。

予選通過チームの本選出場には、11月10日（日）までに所定のアイデアピッチコンテスト申請書を提出することを条件とします。

## 本選

日時： 2019年11月15日（金） 16:00～19:30 アイデアピッチコンテスト  
19:30～20:30 情報交換会

場所： [なごのキャンパス](#) 1階 コワーキングスペース（HOME ROOM）  
（名古屋市西区那古野2丁目14-1、旧 那古野小学校）

## 本選内容

応募者はアイデアに関する3分間のピッチを行った後、本選審査員より4分間の質問を受けます。



## 本選審査方法

申請書・プレゼンテーション・質疑応答を基に、以下の項目を評価します。

1. わくわく感（アイデアがおもしろい）
2. 新規性・独創性（アイデアに特徴や競争力がある）
3. 市場性・将来性（世の中に明確なニーズ・需要があり、将来の発展も見込まれる）
4. 意欲・熱意（アイデアにかける熱意や思いが伝わってくる）
5. プレゼンテーション（話術・資料作成・質疑応答が巧みかつ明瞭である）

## 本選審査員

### 審査員長

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 本部長 佐宗章弘

### 審査員 ※ 五十音順、敬称略

株式会社 R-pro 代表取締役 岡本ナオト

日本ベンチャーキャピタル株式会社 常務執行役員 北岡侑子

株式会社スライプインターナショナル パブリック・リレーションズ本部 SDGs推進室 室長 二宮朋子

株式会社ミライプロジェクト 代表取締役 牧野隆広

### 過去受賞者審査員 ※敬称略

アイデアピッチコンテスト 2016 優秀賞受賞／名古屋大学医学部医学科 5年 井上拓海

## 賞

- Tongali 賞（優秀賞） 5 チーム
  - ◇ 1 チームにつき活動支援金 10 万円支給
  - ◇ [Tongali ハウス](#) 使用权
  - ◇ 起業のための実務サポート
- 協賛企業・団体様よりサポーター賞（予定） ※ 企業名五十音順
  - ◇ ICDA ホールディングス株式会社
  - ◇ 有限責任 あずさ監査法人
  - ◇ S M B C 日興証券株式会社
  - ◇ 大和証券株式会社
  - ◇ 中京テレビ放送株式会社
  - ◇ 一般財団法人東海東京財団
  - ◇ 東朋テクノロジー株式会社

- ◇ 名古屋市信用保証協会
- ◇ 野村證券株式会社
- ◇ 日本ベンチャーキャピタル株式会社
- ◇ 丸紅株式会社
- ◇ 三井物産株式会社
- 海外チャレンジ賞 2チーム程度
  - ◇ 米国・シリコンバレー研修（3/9～14）への挑戦権を授与
- オーディエンス賞
- 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部長賞

## 受賞チームへの留意事項

### 受賞チームの義務

- 活動支援金の使用方法や今後のスケジュール等についての説明会への出席  
2019年11月第4週（調整中）開催、各チーム1名は必ず出席のこと
- 受賞チーム向け研修への参加  
2019年12月7日（土）、2020年1月11日（土）、1月25日（土）、2月22日（土）  
の計4回実施
- 受賞チームが所属する大学のURAや教員等による月1回程度のメンタリング
- コンテスト後の活動について成果報告会（2020年2月29日開催）での発表
- 成果報告書および活動支援金会計報告書の提出
- 【海外チャレンジ賞受賞チーム】英語研修への参加（開催日調整中）

## 活動支援金について

活動支援金は起業活動のための資金として有効に活用し、①成果報告書、②会計報告書を提出し、精算してください。

活動支援金の交付に先立って誓約書を提出いただきます。

使途の例としては、以下を想定していますが、その他に使用する場合、Tongali プロジェクト事務局までご相談ください。

1. 調査費
2. 広告宣伝費・広報経費
3. 件費・消耗品費・通信運搬費・賃借料・旅費・光熱水道費・印刷製品費・資料購入費
4. 創業に必要な機械設備・工具器具類等の購入・修繕に要する経費
5. プログラムの使用権取得に要する経費
6. 事業促進に必要な原材料費
7. 外注加工費

### その他

以下に該当した場合は、活動支援金の一部または全額の返還を求めることがあります。

1. 学籍を失ったとき。
2. 所属する大学賞罰規定により懲戒処分を受けたとき。
3. 起業活動に関する報告義務（成果報告書、決算報告書）が履行されないとき。
4. 傷病その他の事由により起業活動を中断したとき。
5. 予定していた起業計画の実践が著しく遅れたとき。
6. その他、活動支援金の趣旨に著しく反すると判断したとき。